

## テレマティクスを活用した課題解決取組み

当社では、テレマティクス技術・データを活用し、自治体・警察等の皆さまとともに、様々な地域・社会課題解決を進めています。

### テレマティクス技術を活用した交通安全イベント（テレマタグイベント）

全国で累計**230**回以上開催  
※2025年6月末時点

専用アプリと車載器（テレマタグ）を地域住民・企業等に配布し、安全運転スコアを競うイベントを自治体や警察と共催しています。

参加者の運転特性に合わせた安全運転の診断・スコア・アドバイスを提供し、参加者の運転技術向上につなげます。



安全運転によって削減できた「CO<sub>2</sub>排出量」も可視化  
過去1か月分の「安全運転によって削減できたCO<sub>2</sub>排出量」や「節約できた燃料消費量」を当社独自のログにより算出しフィードバック

参加者の走行データをもとに、地域の危険箇所を見える化したマップを作成。自治体・警察へ提供しています。



### Web版テレマティクス交通安全マップ

テレマティクス自動車保険の契約データをもとに、「急減速発生率」に基づく地域の危険箇所候補と「走行量」を可視化したマップを自治体・警察に無償提供します。さらに、本マップを教材に、小学生を対象にした交通安全授業も開催しています。

「急減速発生率」「走行量」が多い箇所を可視化したマップにより、一目で危険箇所候補の確認が可能になります。



当社社員や代理店が講師となり、小学校周辺地域のマップと危険な道路の写真を基に「なぜ危険なのか」「どこに注意する必要があるのか」を児童が自ら考え、主体的に対策できるようにするための授業も開催しています。



### 保育版交通安全マップ

累計**7,000**超の施設に提供  
※2025年6月末時点

施設周辺の交通量・急減速発生率を表示したマップを保育施設に無償提供しています。

2023年4月の児童福祉法改正で保育所等に義務化された「安全に関する事項についての計画」の策定を支援。交通量等を示した保育版交通安全マップの提供により、本計画に盛り込まれる園外活動（散歩コース等）の目的地や経路の安全点検に貢献します。

本マップは、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する第17回キッズデザイン賞の「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門」に入賞しました。



### ADテレマアナリティクス

希望に応じて柔軟にテレマティクスデータを提供します。

富山県警察の事例

富山県警察の公式アプリ「とやまポリス」に、急ブレーキ発生率に関する統計情報を提供。県警が保有する交通事故データと、急減速発生情報をアプリ内の地図情報機能に可視化することで、交通安全啓発に貢献しています。

富山県警察ホームページ

とやまポリス

急ブレーキ多発エリア(当社テレマティクスデータ)

地図情報機能

### 路面状況把握システム

テレマティクスデータにより路面の異常を推定検知することができます。

テレマティクスデータ（上下振動のデータ）の活用により、路面の異常箇所を推定検知し地図上に表示するシステムを自治体等に提供。異常箇所の早期発見や経過観察対象箇所のモニタリング等に活用できるため、効率的かつ効果的な道路維持管理に貢献します。



修繕箇所や経過観察箇所も“安価”かつ“導入・運用が手軽”なシステム上で管理可能

### 事例「SAFE TOWN DRIVE 鹿児島」の取組み



当社では、自治体や警察、地域企業、当社代理店等と、地域の交通安全に貢献する団体を組成し取組みを進めています。鹿児島支店では「SAFE TOWN DRIVE鹿児島」を組成し、2025年6月26日に参画団体のみなさまとキックオフミーティングを開催しました。

AD倶楽部 QRコード



#### キックオフミーティングの様子



集合写真



鹿児島県警察が県内の交通事故状況を説明



当社鹿児島支店より今後の取組み計画を発表



参画企業が自社の地方創生・SDGs取組みを紹介

### テレマタグイベントの開催

鹿児島県と日本生命相互会社 鹿児島支社の後援を受け、テレマタグイベントを実施しました。また、開催後に、参加者から取得した走行データをもとに、急ブレーキ多発地点などを表示した交通安全マップを作成し、鹿児島県に贈呈しました。



表彰式にて交通安全MAPを贈呈



提供した交通安全MAPのイメージ図



イベントのチラシ

### 鹿児島県 男女共同参画局 暮らし共生協働課の声

鹿児島県では、関係機関・団体と連携しながら各種交通安全運動・広報啓発活動など様々な対策を実施していますが、目まぐるしく変化する交通環境に適時適切に対応し交通事故を無くすためには、官民連携での取組みが必要だと考えています。今回提供いただいた交通安全MAPは県庁や市町村、関係機関にも共有し、様々な交通安全対策に活用していきたいです。